

一足早く仮設にプレゼント



クリスマスプレゼントを受け取った子どもたち

NPO法人「仙台傾聴の会」(名取市)が仙台市宮城野区の扇町1丁目公園仮設住宅で続けてきた「傾聴茶話会」が21日、幕を閉じた。今後は、あすと長町(太白区)、田子西(宮城野区)などの災害公営住宅に活動の場

みやぎ 街ひと話題

住宅大手の三井ホーム(東京)やボランティアらでつくる「被災家族に贈り物を届ける会」は19、20の両日、東日本大震災で被害を受けた石巻市や女川町などの仮設住宅を回り、一足早いクリスマスプレゼントを贈った。

石巻市沢田の石巻バイパス仮設住宅西地区集会所には、サンタクロースなどに扮(ふん)した会員ら約10人が訪問。同仮設住宅の入居者ら約30人にマジックシヨを披露し、文房具や絵本、童話を手渡した。子どもたちは歓声を上げて喜んだ。

西地区自治会長の中村熊夫さん(72)は「たくさん人が集まってくれて安心した。プレゼントの贈呈を通

貴重な場だった」と振り返った。

茶話会は2011年8月から月1回開催。住民の多くが来年3月までに転居する見通しとなったため、一

石巻・女川などでボランティアら贈る

じ、子どもたちの楽しそうな姿を見ることができうれ

しい」と感謝した。届ける会は震災後、三井ホームが建設に携わった石巻地方の仮設住宅などで支援を展開している。

◆◆ 飲食店街巡り啓発 古川署

年末年始を無事に乗り切ろうと、「安全・安心まちづくり合同キャンペーン」が15日、大崎市古川の中心部であった。

商業施設「リオーネふるかわ」の広場に、市内の防犯と交通安全の諸団体から100人が集合。伊藤康志市長が「来る年が安心、安全なものであるよう、気を引き締めて歳末の活動に当たろう」とあいさつ。古川署の斉木弘悦署長が「皆さんの声掛けにより、飲酒運転や特殊詐欺を撲滅してほし

い」と激励した。参加者は3班に分かれて周辺の飲食店街をパレード。反射材付きマスコット人形を道行く人に配り、拍子木を打ち鳴らして、事故の防止を訴えた。



店舗を訪れ、交通安全のマスコット人形などを配る参加者

年末年始安全な街に

各地で特別警戒

◆◆ 出動式 150人を激励 泉署

泉署は15日、特別警戒の出動式を仙台市泉区の区民広場で開いた。泉地区9地域の防犯協会など各機関から約150人が参加した。

泉地区防犯協会連合会の伊藤誠会長は「初詣客を狙った犯罪に気を付けてほしい」とあいさつ。本木利信署長は「商店や金融機関を

た。伊藤会長は出席者に「防犯」の文字が入った腕章を手渡しで贈り、激励した。



ひとめぼれ25周年 憧れの選手と祝う

仙台でパーティー 県産米の主力品種「ひと

めぼれ」 念したク ーが20日 江陽グララ ー、プロ

時期がよう話し



を

プレ安話と